

平成24年度第1回調布市地域福祉推進会議 【議事要旨】

日時 平成24年5月14日(月)

場所 文化会館たづくり西館2階予防接種室

【出席】

- 1 出席委員 18人
- 2 事務局出席 福祉健康部（福祉総務課，高齢者支援室高齢福祉担当・介護保険担当，障害福祉課，健康推進課），子ども生活部（子育て支援課）
- 3 傍聴者 5人

【資料】

<事前送付>

- 1 平成23年度 第7回 調布市地域福祉推進会議 議事録
- 2 平成23年度 第7回 調布市地域福祉推進会議 議事要旨

<当日配布>

- 1 調布市地域福祉計画
- 2 第8期調布市地域福祉推進会議の取組（案）

【議事要旨】

- 1 第8期調布市地域福祉推進会議委員 委嘱式
- 2 第8期調布市地域福祉推進会議 会長・副会長の選出
会長 和田敏明 委員
副会長 和気康太 委員
- 3 調布市地域福祉計画について

○事務局

調布市地域福祉推進会議について
第7期の経過について
計画の概要について

地域福祉について

4つの目標について

重点施策について

地域別計画について

○**委員** 地域福祉計画の10地域はどのように決まったのか。

⇒**事務局** 調布市総合計画の中に、3つの区域割（東西南北の4地域、基礎的地域の10地域、小学校区を中心とした20地域）がある。

前回の地域福祉計画から、10地域を採用していた。

今回は、10地域が地域の団体の情報交換や連携を図るに当たって、地区内の福祉の課題やニーズを掘り起こすのに適した区域ではないかということで、10を採用した。

○**委員** 地域別計画の掲載した社会資源について、どのように選定したのか。

⇒**事務局** 各施設担当課に照会し、全てを掲載した。未掲載の施設等が判明した場合は、増刷の概要版で修正を検討する。

○**委員** 地域福祉コーディネーターについて。

社会福祉協議会のボランティアコーナーの役割や機能を拡充するようだが、市として何か新たな計画はあるのか。

30ページのイメージ図では非常にたくさんのところと折衝していくことが予想されるが、本当にこれだけたくさんの組織、団体と連携がとれるのか。地域福祉コーディネーターをサポートする施策があってもいいのではないか。

⇒**事務局** 現在社会福祉協議会でボランティアコーナーを設置しており、ボランティア同士のマッチング等を主に実施している。市としては、役割を明確化し、別の機能・役割を拡充する想定である。現在、ボランティアコーナーは、地域福祉センターを中心に配置しているが、拠点については、今後の検討課題である。

地域福祉コーディネーターのサポートについては、未定である。

4 第8期調布市地域福祉推進会議の取組について

○事務局

今期の取り組み案について

○委員 計画の、重点施策等の進捗確認については、どのように行うのか。

進捗確認は年度ごとで行うのか。3年に1度では、修正・進捗管理が甘くなってしまうのではないか。

⇒事務局 計画期間6年の内、上半期をまとめるという形で、第8期の最後に確認を行う予定であった。

年度ごとに振り返る方法を検討する。

○委員 地域福祉コーディネーターについて。重要だと思う反面、地域で似たような団体、組織の活動がある。そことどう調整していくのか関心がある。

地域福祉コーディネーターがしっかりできていくと地域が活性化される反面、逆に今度、足かせになるような心配である。

○委員 地区割の再検討については。

⇒事務局 計画の推進自体は、計画どおり10地域で行う。

再検討については今後の課題とであるが、この会議で何らかの方向性が出ればよいとは考えている。

⇒会長 計画で設定する地域は1つの活動主体である。住民自身の活動エリアや、地区協のエリア、地域包括支援センターのエリア等、将来的に協働しやすい条件をどうつくるかが課題。検討する必要がある。

○委員 地域にたくさんいる高齢者の関係で、地域包括支援センターと住民の関係がとても強いように思える。10地区では、最も親しんでいる施設が、線を引かれて分断されてしまうという懸念があると思う。利用される方にとっても心配なのでは。

○委員 多摩川住宅ホ号棟では、高齢者が増えた関係で、自分たちの住んでい

るまちで楽しく生活できればいいなということで、高齢者問題等対応委員会を立ち上げている。自治会のころから管理組合に変わったときも同じ事務の人が継続しているので、住んでいる人がほとんどわかる状態にある。

一番大切なのは、地域の中で、困っている人をどのようにしてみつけていくかだと思う。地域福祉コーディネーターは、大勢設置されるわけではないので、自分たちの地域のことは自分たちでやらなくてはならないと思っている。

地域福祉コーディネーターが設置された際に、どのように活用していくかが難しいと思う。

⇒**会長** 計画の中で地域住民の方々の活動をどのように造り、活性化するか。

また、その活動と機関とをいかにつなげるかが重要である。

調布は集合住宅が多くあるので、集合住宅で高齢者課題にどのように取り組んでいったらいいかということも採りあげ、ぜひ議論したい。

会長 防災の問題も、これから進捗状況も含めてどういう課題があるのか。

地域の中でうまく進むのか、進まないのか。進んでいるところではなぜ進んで、進まないところはどうなっているのか。そこをどうしたらいいかということについてもここで少し議論を、自治連の会長さんや地区協の会長さんがいらっしゃいますから、民生委員さんも含めて議論をしてみることも大事だと思う。積極的に取り上げて、議論していきたい。

○**委員** 高齢者の問題は多く出ているが、児童と高齢者がうまくかみ合うような、交流ができるような仕掛けができれば、高齢者の方にも生きがい、張り合いができるのではないか。児童にとっても、高齢者を大事にするということが考えられるのではないか。

○**委員** 計画書ができ上がって、どのくらいの人が手にしているか、配布状況は。

計画書は、欲しい人は入手できるのか。

⇒**事務局** 配布状況として、行政の各施設、神代出張所、福祉総務課、図書

館等でも入手することができる。また、ホームページでも、データで入手することが可能である。

ほしい方については、市民の方でなくても、ご請求いただければお渡しできる。

- 委員** 33ページの防災について、とりわけ災害時の要援護者への支援ということは、既に調布市のプランとして出されている。平成24年には行動計画までつくることが記載されているが、ここでディスカッションする必要はないということか。

⇒**会長** 報告を受けて議論を行いたいと思っている。

- 委員** 各10地区のヒアリングについて、今年度は行わないのか。

⇒**事務局** 今年度に予定はないが、次年度の実施を検討する。

- 委員** 今年度は4回だけで、また、次回の9月まで期間が空くが、検討する時間が少ないのではないか。

⇒**会長** 昨年度は計画策定につき、多く開催し議論したが、今年度は計画完成後につき、まずは、その進行と、新しい課題についての検討ということで、予算上4回となった。

次回に向けては、事前の検討用資料送付を行う。